

八女市総合教育会議 議事録

○ 開催日時

平成28年7月20日（水） 自 午後3時00分
至 午後4時11分

○ 場 所

八女市役所 205会議室

○ 出席者

市 長	三田村 統 之
教 育 長	西 島 民 生
職務代理者	内 藤 昭 典
教 育 委 員	金ヶ江 悦 子
教 育 委 員	山 崎 久美子
教 育 委 員	加 藤 哲 英

○ 事務局

教 育 次 長	橋 本 吉 史
学校教育課長	持 丸 末 喜
学校教育課総務係長	栗 山 哲 也
学校教育課学務係長	江 崎 由 美
学校教育課指導主事	栞 山 俊 朗

橋本市長	<p>ただいまから八女市総合教育会議を始めさせていただきます。</p> <p>始めに三田村市長よりご挨拶をお願い致します。</p> <p>皆さんこんにちは 本日は、八女市総合教育会議に教育委員の皆様には、大変ご多忙の中にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、学校教育はもちろん、様々な分野で子どもたちのご指導ご協力をいただいていることに、感謝を申し上げます。子どもたちを囲む環境は、様々な課題が山積しており、八女市と致しましても子育て支援を実施しているところです。特に子どもの貧困については、経済面・時間的制約面などの課題があります。そのような中で教育現場をしっかりと把握しながら指導いただいていることに、改めて感謝を申し上げます。</p> <p>八女市は、合併後広大な面積となり、森林率が66%という中山間地であります。人口減少、少子化が急速に進んでおり、合併後6年経過しましたが、約4千人の人口減少となっています。</p> <p>子どもたちが少なくなる中、学校運営、教育環境をどう整えていくかは、大きな課題だと考えております。皆様方には、様々なご指導・ご支援をいただくこととなりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>梅雨も明け、いよいよ夏本番を迎え、全国的に熱中症も多くなります。子どもたちも現場の先生の指導のもと、熱中症対策をよろしくお願い致します。</p> <p>ご承知のとおり、空調設備も設置しておりますので、節約することなく快適な学習環境となりますよう、ご利用いただきたいと思えます。</p> <p>本日の会議で、様々な意見が出ますようご議論をよろしくお願い致します。</p>
橋本市長	<p>それでは、八女市総合教育会議運営要綱第2条第1項によりまして、市長に議長を務めていただき、議事の進行をお願い致します。</p> <p>それでは、本日予定しています議題について、ご審議をよろしくお願い致します。議題の1「八女市立上陽北浜学園小学校・中学校の義務教育学校への移行（案）」について事務局より説明をお願いします。</p>
持丸	<p>始めに、義務教育学校についてパワーポイントを使い、栢山指導主事から説明をしていただきます。</p>
栢山持丸	<p>・・・議題1の説明・・・</p> <p>・・・上陽北浜学園での取組み状況の説明・・・</p>
市長	<p>事務局の説明が終わりましたが、この件について、何かご意見・ご質問はありますか。</p>
加藤	<p>これまで上陽北浜学園では、小中一貫教育の積み上げがあり、そのメリットは理解されているところですが、課題もあるのかなと思います。小学校から中学校への区切りの問題で、例えば小学校の卒業式などが無くなることに対する保護者や子どもたちの理解や実際にどのように運用していくのかなどの協議が必要ではないかと思います。デメリットを無くしていくことが大切だと感じています。</p>
持丸	<p>参考として県立輝翔館なども同じような形態となりますので、イベントのやり方などの研究を行います。セレモニー自体を無くすことは出来ないと考えております。</p>
市長	<p>国、文部科学省は、この義務教育学校制度を今後推進していこうとしているので</p>

持丸	すか。それとも、自治体の選択の幅を増やしたということなのでしょうか。
橋本	従前より推進してきた小中一貫教育の成果を受けて、新しい学校づくりの一つとして、この制度が設置されたものだと認識しております。
市長	国としては、小中学校の統廃合を進めていきたいとの思惑もあるのだと思います。
持丸	国は、統廃合により教職員数や財源の削減も図りたいのでしょうか。
市長	八女市において、義務教育学校への移行を推進する場合、小学校と中学校の校舎は分離していますから、資金面など課題が多いですね。
持丸	今回の上陽北浜学園は、校舎一体型でメリットは多いのですが、校舎分離型の義務教育学校設置も可能となっております。
市長	校舎一体型であるからこそ、子どもたちの学習環境が整うものであり、分離型では、メリットはあまりないと思いますね。
内藤	将来的に、黒木では中学校の空き教室がありますので、中学校での校舎一体型などの検討は可能かと思います。
教育長	合併前の旧町村では、これまで学校統合を経験しているため義務教育学校への移行は可能かと思いますが、旧八女市では、学校統合の経験がないために、これを推進していくことは大変難しいと感じています。教育委員会としましては、旧町村単位で1小1中になるまでは、その単位で統合を進めていきたいと思っています。
金ヶ江	校舎一体型の学校を造るためには、学校を統廃合する場合に考えて行くことになるかと思っています。
教育長	教育は、不変の道として変わらないものだと考えておりますが、国も10年先、20年先を見据えて制度改正を実施しているでしょうから、小中一貫教育の後は義務教育学校の設置という計画があったのでしょうか。
橋本	回答にはなりません。国が、小中一貫教育を推進してきた事は事実です。当時は、小中一貫教育を実施するために文部科学省の認可を受ける必要がありました。そのために礼節ことば科という特別な教科をつくりました。今回は、学校教育法の改正に伴い義務教育学校の設置が可能となりましたが、設置には文部科学省の認可を受ける必要はありません。市町村独自の判断で設置が可能となりました。
市長	設置のメリットが多いので、国は推進していくと思いますが、校舎併設型ではメリットが少ないと思いますので、すぐに設置できるものではありません。
橋本	通常、法律改正等は文部科学省から通達が出るものですが、今回の義務教育学校設置については、各市町村の要望で改正されたものです。
市長	国は、社会保障費等の財源を捻出するために今回の改正を実施したのかと思います。社会保障費以外の予算が減額されていく中で、子どもの教育については、財政面の問題で法改正等がなされ予算が減額されることに問題があります。これからの日本を背負っていく人達だから、必要な予算措置をしていくべきだと考えます。
橋本	現行制度では、副校長、若しくは教頭は置かないといけないのでしょうか。
橋本	現行制度では、義務教育学校の教職員定数の規定がありませんので、小学校及び中学校の定数を併せたもので運用するようです。福岡県教育委員会においても同様

	<p>であることを確認しております。</p> <p>それから、今回の八女市の義務教育学校設置の意図と全国のそれとは、少し相違点があると思います。財政面から学校の統廃合を図るためには、学校の適正規模というものがありますが、今回の上陽北浜学園は、一学年一クラスですから適正規模は満たしていません。八女市においては、地域に文化を残していくために義務教育学校を設置していくことになるのかと考えます。</p> <p>そういうところは、国の意図とは違う点だと感じています。</p>
教育長	<p>八女市のような小規模の義務教育学校と適正規模の義務教育学校とを比較すると、八女市では子どもたちの人間関係に比重が偏りがちになります。本来、学級編成が可能となる義務教育学校が望ましいのですが、市としては、地域に学校を残していくために義務教育学校を設置していく方針です。</p>
市長	<p>今日の段階では、上陽北浜学園については、義務教育学校へ移行をするということ。他の学校については、今後、各地域・保護者と協議を進めていくということによろしいですね。</p>
教育長	<p>市長、上陽北浜学園については、来年4月1日に義務教育学校へ移行することで手続きを進めてよろしいですか。</p>
市長	<p>上陽北浜学園については、それでいいです。</p>
持丸	<p>一点だけよろしいでしょうか。学校教育法の改正は、平成28年4月から施行されております。実は、義務教育学校の教職員定数等の規定が明らかにされていませんでしたが、1年の経過を待って、その点が確認できましたので、移行準備を進めてきた経過があることを報告させていただきます。</p>
市長	<p>他の市と比較して八女市は、中山間地域を抱えていますし、子どもたちを取り巻く環境が違うと思います。義務教育学校への移行については、国の働きかけに因らずに慎重に協議を重ねて良い方向へと進めていくことが大事だと考えます。</p> <p>次に、議題の2「矢部地区の学校（小学校・中学校）のあり方」について事務局より説明をお願いします。</p>
持丸	<p>・・・議題2の説明・・・</p>
市長	<p>事務局の説明が終わりましたが、この件について、何かご意見・ご質問はありませんか。</p>
内藤	<p>平成30年度の新小学1年生が11名の予定であるとの事です。この児童数が、そのまま入学していただきますと複式学級の回避が可能となりますね。</p>
加藤	<p>本年度の矢部小中学校合同の運動会を参観しました。その中は、小中学生相互協力のもと温かみのある大会になっていました。その他にも伝統芸能「浮立」においても小中連携が行われています。そういう点で小学校6学年よりも、中学校も含めた9学年の方が、学習活動など広がりを持って学ぶ面も多く、子どもたちの成長にとって良いのではないかと考えます。また、中学生にとっては、小学生に対する優しさを培う事ができると思います。</p> <p>それと同様に、中学校の先生方には、専門性を活かした教科指導が可能になるメリットがありますので、矢部地区の子どもたちにとっては有意義なことではないかなと思います。</p>

金ヶ江	<p>矢部地区で開催される桜マラソンでは、矢部中学校の生徒さんが参加者にゼッケンを配付するなどのお世話を一生懸命やってくれます。</p> <p>また、上陽北浜学園では、入学式において新7年生が新1年生の手を引いて入場するなど、見ていて感動することが多いです。</p> <p>そのような点で、小中一貫教育の学校は、大変効果があると思います。</p>
市長	<p>事務局から何かありませんか。</p>
持丸	<p>矢部地区では、現在プールが小学校にのみ設置されています。併せて中学校のグラウンドが狭いことから、今後は、小学校の場所に施設一体型の義務教育学校設置が望ましいのではないかと現段階では考えております。</p> <p>今回、矢部地区の保護者から義務教育学校に関しての説明依頼も受けています。今後は、学校のあり方検討委員会を設置して協議を重ねて参りたいと思っています。</p>
市長	<p>地域活性化の点から、小中学校が一つの絆で結ばれることは、様々な取組がやりやすくなりますね。</p>
持丸	<p>矢部地区の学校については、正式に義務教育学校の設置依頼があったのですか。</p>
市長	<p>いいえ、「義務教育学校とは何か。」の説明依頼を受けているところです。</p>
教育長	<p>この件については、保護者はもちろんですが、地域住民の方にしっかりと理解していただいて協議を重ねていくようにお願いします。</p>
市長	<p>教育委員会としましては、平成29年度に矢部地区の学校のあり方検討委員会を設定して協議を進めて行きたいと思っています。</p>
市長	<p>以上で議題の協議は、終了させていただきます。</p> <p>その他で何かご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>無ければ、本日の総合教育会議を閉じさせていただきます。</p> <p>また、今後この問題につきましては、重要な課題でありますので様々なご意見をいただき、良い方向に進んで参りますようお願い申し上げて議長の役割を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
橋本	<p>熱心なご協議ありがとうございました。これをもちまして八女市総合教育会議を閉会いたします。</p>